

「市民力」でさらなる継続を

このたび、引き続き2期目の市政運営を担わせていただくことになりました。

これまでの4年間、皆さまのご支援とご協力をいただきながら、私の理念である「市民協働・共創」の下、子育て支援、教育環境の充実、市民が安心して暮らせる生活環境の整備など、公約として掲げた施策の実現に向けて全力で取り組んでまいりました。

おかげをもちまして、これら施策に加え、新しいまちづくりの足掛かりとなる多くの施策を実行することができたと感じています。

ご承知のとおり、人口減少・少子高齢化が全国的にも深刻な状況となり、行方市も



「消滅可能自治体」と取り上げられたことから、持続可能なまちづくりが今後の最も大きな課題です。国を挙げた地方創生で地域間競争が激化している中、これまでに以上に熱意を持ち「行方ならではの」施策に取り組んでいかなければなりません。

そこで、これからの4年間は、次の5つを基本政策に掲げ「行方市総合戦略書」と整合を取りながら、重点的かつ積極的に施策を推進してまいります。

①少子化対策と子育て支援の充実

本市の将来を担う子どもたちの健やかな育成を図るため、「マル福制度」の対象年齢の拡充、病中時保育受け入れ施設の確保やICT教育の充実など、子育て支援を推進します。

②安全・安心で住みやすいまちづくりの推進

地域のネットワークの強化、広域バスおよび市内バスの整備、定住・移住の促進や東関東自動車道水戸線の開通に合わせたアクセス市道や生活道路の整備など、皆さまが安心して暮らすことができ、生活環境づくりを推進します。

③元氣な行方になるための働く場と産業の拡大

基幹産業である農畜水産業をはじめとする地域産業の従事者の確保、消費者や市民を含めた6次産業化施策や鹿行DMOを基本とした観光産業など、地域の特色を生かした施策を推進します。

④健康で文化的なまちづくり

当地域における医師確保、介護予防体操や高齢者レクリエーションの推進、多世代の交流や日頃から市民がスポーツに親しめる環境づくりなど、子どもから高齢者まで、全ての市民の皆さまが生きがいを持ち、笑顔で健やかに生活できるまちづくりを推進します。

⑤夢の持てる行財政運営

市民目線によるスリムな財政運営、市民ワークショップを経た公共施設等の再検証や整備、積極的なシティブロモーションや「なめがたエリアテレビ」のさらなる活用など、市民が主役となる市民協働のまちづくりを推進します。

ここで申し述べたことは、一端です。皆さまにこれから先もずっと、行方市に「住みたい」「住み続けたい」という思い

を持ち続けていただくためには、誠意と強固なリーダーシップを持つて着実な市政運営を続けていくこと、そして、素晴らしい行方市を築き、次世代につなげていくことが大切であると考えます。

これらを実現していくためには「オール行方」で挑まなければなりません。今後4年間、皆さまからお寄せいただいた信頼と期待にお応えし、初心を忘れることなく、皆さまと共に「笑顔で住み続けたいまち、行方」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

ここに、新たな決意を表しますとともに、皆さまの一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



初登庁後、各庁舎で職員に訓示を行いました（写真は北浦庁舎）